

日本共産党 庄原市議会議員 ふじき百合子

ご町内のみなさん。あけましておめでとうございます。日本共産党 庄原市議会議員のふじき百合子でございます。

今年が、みなさんにとって、よりよい年になりますよう、心からお祈りいたします。今日は、谷口たかあき議員といっしょに、新年のごあいさつに お伺いいたしました。

さて、みなさん。今年は、参議院選挙の年です。

私たち 日本共産党は、市民と野党の共闘を さらに発展させ、政権交代への足掛かりになる選挙にしていきたいと決意しています。

広島選挙区では36歳の新人 中村孝江候補を先頭がんばります。

みなさんの 大きなお力添えを、ひきつづき、お寄せいただきますよう よろしくお願いたします。

いま、コロナ感染の再拡大が危惧されています。

私は、庄原赤十字病院などの 公的病院を統廃合し、20万もの病床を削減する計画を中止させ、ワクチン接種と一体に、大規模な PCR 検査の実施、医療・介護・保育・教育などの ケア労働者の待遇改善、困っている人に届く 給付金の実現に 全力をつくしてまいります。

小中学校の統廃合計画を見直し、教育の充実に有効で、コロナ禍でもきちんと対応できる、小規模・少人数教育の充実。18歳までの医療費無料化、18歳までの国保税均等割の廃止など、市民のみなさんの 切実な願い 実現に、全力でとりくんでまいります。

ご町内のみなさん。

市民のくらしを 本気で 立て直すには、最低賃金の引き上げ、大幅に下落している米価の保障など、市民のくらしを 直接、底上げする政策が どうしても必要です。

また、男女の賃金格差解消、選択的夫婦別姓制度の導入、性暴力の根絶など、ジェンダー平等社会の実現も、切実な 願いとなっています。

これらは、どれも、現在の憲法が、国民の権利として 保障している ものばかりです。

自民党・公明党と その応援団である 日本維新の会は、「憲法を変えよう」と さかんに主張しています。

しかし、「平和と自由、民主主義と人権の保障」を定めた 日本国憲法をまもらず、その実現を妨げているのが、他ならぬ、自民党・公明党と それを応援する 日本維新の会ではないでしょうか。

「憲法をまもり、くらしに生かせ」という運動を、広げに広げ、私たちの 切実な願いを 実現していこうではありませんか。 私も、その先頭に立ってがんばります。

どうか、みなさんの 大きなお力添えを、ひきつづき、日本共産党に お寄せいただきますよう 心から お願いいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

わかりやすく、読んで楽しい、日本共産党の「しんぶん赤旗」を、この機会に、ぜひ、お読みください。どうぞよろしくお願いたします。

ご清聴いただき、ありがとうございました。